

# 都市みらい通信

## IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development

平成12年12月

(財)都市みらい推進機構

### □まちづくり情報

- ・東札幌地区の開発整備計画について

### □自主研究紹介

- ・シリコンバレーとシリコンアレーの新産業創造について

### □都市みらいカレンダー

- ・平成12年度調査研究報告会ならびに会員意見交換会開催のご報告
- ・篠路駅周辺地区検討会
- ・江別の顔づくり事業研究会
- ・幕張南口地区市街地整備事業推進委員会
- ・砂津・末広地区合同研究会

平成12年12月25日

### □まちづくり情報

当財団では、今年度より東札幌地区のまちづくりに関し、札幌市のお手伝いをさせていただいております。

この東札幌地区は旧国鉄東札幌駅跡地を活用した開発計画地で、既にコンベンションセンター等の工事に着手するなど、札幌市の高次都市機能拠点として今後の発展が期待される地区となっております。

#### 東札幌地区の開発整備計画について

東札幌地区は札幌市の都心から南東約3kmに位置する、旧国鉄東札幌駅跡地を中心とする約20haの開発計画地です。古くはこの貨物駅を中心に工業や流通・運輸関係を中心とした土地利用が図られてきました。その後、貨物駅が廃止されたことにより、地下鉄や幹線道路等の交通基盤が整備され都心にも近いというポテンシャルの高さにもかかわらず、大規模空地による地区分断、地区内道路の未整備、住工混在等の課題を抱えることとなりました。

このため本市では、都心周辺に残された数少ない大規模未利用地として全市的な活用に供するため各種検討を行ってきましたが、本年1月に策定した第4次札幌市長期総合計画では、今までの検討結果を踏まえ「コンベンションセンターや産業振興施設、商業・業務施設などの集積により、集客交流産業振興と活力ある企業や人材の育成を先導する拠点としての整備を進める」と位置付けました。

具体的な整備計画としては、その基本的なゾーニングを公園・緑地ゾーン、公共ゾーン、商業・業務ゾーンの3つに大別して整備することとしています。

このうち、公共ゾーンについては、コンベンションセンター、産業振興施設、市民情報センターの3公共施設を複合的・一体的に整備することで、多様な交流と新しい産業拠点の創出を目指すこととし、今年度から建築工事に着手しており、産業振興施設、市民情報センターにつ

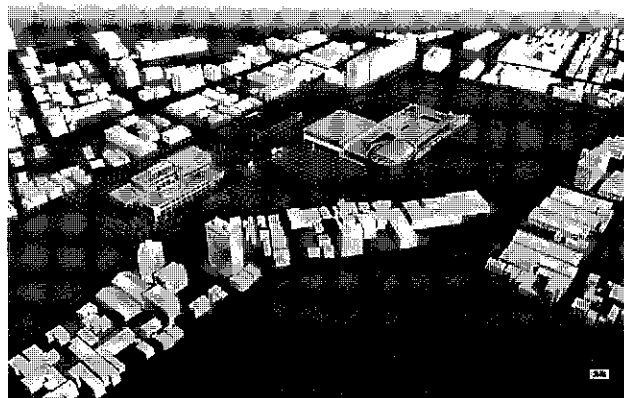
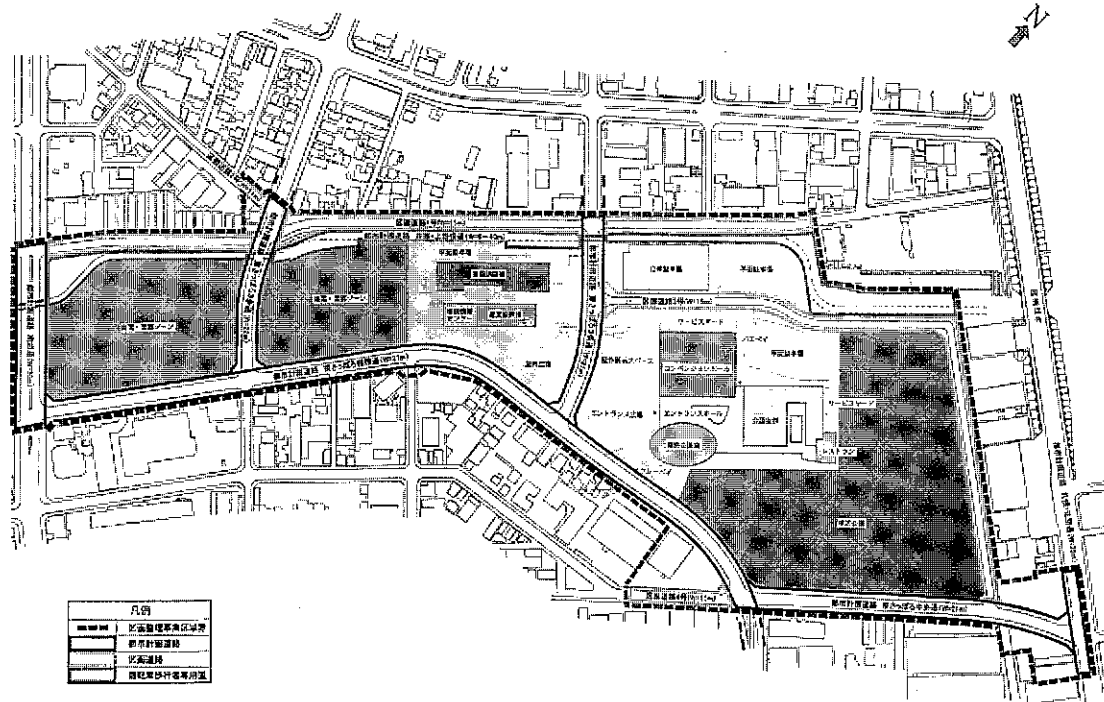
いては平成14年度、コンベンションセンターについては平成15年度の完成を目指しております。

また、道路等の基盤については、札幌市施行の土地区画整理事業により整備を行うこととしており、本年3月には都市計画決定を行い、来年度から整備に着手する予定です。

一方、商業・業務ゾーンについては、当該地区開発に相応しい民間事業者を誘致する方針であり、来年度予定している仮換地指定以降、速やかに民間事業者に処分すべく、現在、誘導すべき機能、土地利用構想、誘導方法等について検討を進めています。

(寄稿：札幌市都市局東札幌担当)

東札幌地区コンベンションセンター等公共施設全体配置図



コンベンションセンター等、  
公共施設完成予想図（鳥瞰図）

コンベンションセンター完成予想図



## 自主研究紹介

新産業育成と公共の役割に関する調査：シリコンバレーとシリコンアレーの新産業創造について

経済活性化・IT・新産業育成といった記事が毎日新聞紙上を賑わしておりますが、こうした状況は街づくりにも大きな影響を及ぼすとの観点から、先端産業集積都市として米国経済を牽引している代表的な都市であるシリコンバレーとシリコンアレーを取上げてみました。

詳しくは報告書にまとめてあります。以下、簡単に調査内容についてご紹介しておきますので、関心を持たれた方は当方までご連絡ください。

企画調整部 篠原

### 【調査方法】

- ①両市について「街の形成過程・現況・新産業育成の経緯と仕組・公共の役割・中核機能」といった切り口から調査し、
  - ②石井威望（東大名誉教授）・小長谷一之（大阪市立大学助教授）・大西隆（東大教授）・小門裕幸（法政大学教授）・小池聡（ネットイヤーグループ代表）・山本尚利（SRIコンサルティングシニアコンサルタント）の各先生方に
  - ③公共の役割・成功の要因・心理的側面・中核的組織体の活動・我が国自治体の新産業育成課題・我が国自治体の対応策
- という観点からご意見をお伺いして、報告書をまとめました。

### 【両市の特徴】

シリコンバレーは、サンフランシスコ市南方のサンタクララを中心に発展し、世界的に有名なコンピューターや半導体産業が集積している地域です。

一方、シリコンアレーはニューヨークのマンハッタン南部に位置し、芸術家やクリエイターやアーティストなど、マルチメディア産業の新たな担い手が集ってきている地域です。

この二つの都市は、地理的にアメリカの両端に位置しているというだけでなく、シリコンバレーが技術系産業の集積地であり民間主導で発展してきた街であるのに対して、シリコンアレーはコンテンツ系の産業集積地であり行政主導で発展してきた街であるという、対称的な特色をっております。

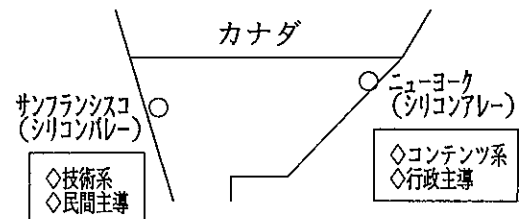
### 【参考すべき点】

行政・財界・地元・大学等が全面的にバックアップしているNPO（日本の概念とかなり違う）が中心となって、新産業育成に欠かせない優秀な人材を世界中から吸引し得るようなコミュニティづくりに注力しています。

こうしたコミュニティを評価して世界中から集まった優秀な人材が、続々と米国を代表するような企業を作り上げており、これが米国経済活性化の原動力となっております。

箱物中心の街づくりから脱皮して、こうした仕組み作りをベースにした都市環境整備が今後の街づくりには不可欠と指摘しております。

こうした観点からの街づくりに当財団も積極的に関与していておりますので、こうした街づくりにご関心のある方は是非ご一報ください。



都市みらいカレンダー

財団

\*印のある項目については、他のページに解説があります。

月	日	項 目	備 考
11	10	*幕張駅南口地区市街地整備事業推進委員会（千葉市）	第1回
	16	*篠路駅周辺地区検討会（札幌市）	第1回
	17	*砂津・末広地区合同研究会（北九州市）	第1回
	22	*江別の顔づくり事業研究会（江別市）	第1回
12	8	H12年度調査研究報告会・会員意見交換会	第4回
	11	創世1. 1. 1区空間整備検討委員会（札幌市）	
	11	IT革命と大都市のリノベーションシンポジウム	第1回
	15	蘇我特定地区整備計画策定協議会	
	28	御用納め	
1	4	仕事始め	第5回 第3回
	25	創世1. 1. 1区空間整備検討委員会（札幌市）	
	29	サブナード延伸計画等検討委員会	

インテリジェントシティ整備推進協議会

12	4	都市情報化研究会	第7回
	8	まちづくりパートナーシップ検討分科会	第4回

都市地下空間活用研究会

12	8	東京駅周辺地下利用分科会	
	13	企画運営小委員会	
	18	事業部会／定例懇話会（国土庁大深度室 本東企画官）	
	19	大深度地下利用のための情報分科会	
1	22	事業部会／定例懇話会（東京電力㈱ 大塚管路Gマネージャー）	
	30	東京駅周辺地下利用分科会拡大リーダー会議	

## 平成12年度調査研究報告会ならびに会員意見交換会開催のご報告

当財団の受託事業の概要及び主な受託調査の個別地区概要説明について会員向け報告会を12月8日にホテルフロラシオン青山にて開催いたしました。

報告会には、会員の方々105名のご参加を得て、来賓に建設所都市局まちづくり事業推進室の松谷室長を迎え、また、「総合的な都市整備について」とのテーマで同じくまちづくり事業推進室の須藤課長補佐よりご講演をいただきました。

個別地区概要説明では、秋田地区：埼玉新都心地区：千葉臨海部地区：秋葉原地区：金沢地区：新長田地区：低・未利用地地区を取り上げ、自主研究としてシリコンバレーとシリコンアレーの新産業創造について発表し、報告会は盛況の内に終了致しました。尚、当日ご出席いただけなかった会員の皆様方には、当日配布した資料を別途ご送付致します。

また報告会に引き続き、会員意見交換会を開催致しました。

この会は、会員の皆様から財団事業に対するご意見をお伺いし事業内容の充実を図ること、加えて会員相互の交流を密にすることを目的として毎年開催しております。今回は約80名のご参加を得て、松谷室長、須藤課長補佐にもご参加いただき活発な意見交換が行われ、皆様方より有意義なご意見を伺うことができました。ご協力ありがとうございました。また、会員相互の懇親も深めていただき、情報交換にもお役に立てたかと思えます。

今後とも会員の皆様には、当報告会・意見交換会への積極的なご参加で財団事業へのご理解を深めていただき、また忌憚のない多くのご意見を私共にお寄せいただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：総務部 安藤

## 幕張駅南口地区市街地整備事業推進委員会

当地区は過去数々の調査が実施されてきた歴史があります。その間幕張新都心の建設、パブルの崩壊等、社会・経済情勢に翻弄されてきましたが、当地区も高齢化社会を迎え街の空洞化が進行しつつあります。そうした中、今回北原千葉大学教授、岸井日本大学教授の学識経験者を迎え、第1回の委員会を開催しました。

委員会ではワーキンググループによる「市民参加」を促すワークショップの形態を取りながら、地元の意向をふまえた新たな街づくりの方向を考えることとしました。

## 篠路駅周辺地区検討会

平成12年11月16日（木）、札幌市役所において、北海道開発庁本田開発専門官をお迎えし、札幌市の北部に位置する篠路駅周辺のまちづくりのありかたについての検討会を実施いたしました。

この検討会では、篠路駅周辺における土地利用や交通計画、事業の実現化に向けた検討を行うこととしており、年度内3回の実施を予定しております。

### 砂津・末広地区合同研究会

当地区は小倉都心の北東側に近接する臨海部で、都心を支援すると共に都心部への導入空間の形成を図るといった重要な役割を持ち、ウォーターフロント・アメニティを小倉都心にもたらしめべき地区として位置付けられています。

また当地区は、都心近接地区としては比較的大規模な土地利用転換が予定されている地区であることから、大規模な土地利用転換推進に向けた対応方策の検討を目的として研究会が設置されました。

### 江別の顔づくり事業研究会

平成12年11月22日（金）、当財団の会議室において、北海道大学大学院 佐藤馨一教授を座長に、建設省から都市局都市計画課 高橋忍建設専門官をはじめとする4名の委員のご出席をいただき開催いたしました。

この研究会では、江別市の野幌地区におけるまちづくりのありかたを検討することとしており、年度内3回の研究会を予定しております。

#### あしがき



パーソナルモバイルツールもコンパクトメモリーカードを入れることにより100メガ以上の記憶容量を持たすことができ、10年以上前のパソコン並になってきた。しかし、使い勝手からすると古いタイプの方がシンプルで個人的には好きであり、不要なファイルを消しつつ新しい情報を追加して大切に使用しつづけている。先日、この古い情報をチェックしていたらスペインを旅行した時の印象メモがあった。①継続可能な文化 ②お年寄りが歩ける街並み ③アラブ文化の偉大さ、大航海の15世紀ごろに繁栄した後 植民地時代の終焉で衰退していったと言われつつも、過去の遺産が生きつづけている豊かさが感じられた国家。私たちも、そこに暮らしていた人々の営みを感じつつ、歴史を重ねることで未来に受け入れられるまちづくりを心がけていきたいものである。(T.I.)

#### 発行

財団法人 都市みらい推進機構

〒107-0062

東京都港区南青山3-18-14 南青山スリービル2F

TEL : 03 (3423) 2120

FAX : 03 (3423) 2125

[kikaku@toshimirai.or.jp](mailto:kikaku@toshimirai.or.jp)

<http://www.toshimirai.or.jp>